

Startup Guide

スタートアップガイド



2016年8月 初版

* G Z R - 0 0 0 0 1 3 - 0 0 1 - 0 0 *

箱を開けてから本製品が使えるようになるまでの手順を説明します。
このスタートアップガイドに従って作業してください。

⚠ 安全に関するご注意

セットアップする前に「使用上のご注意」または「ユーザーズガイド」の以下の項をお読みの上、
注意事項を守って正しくセットアップしてください。

「安全にかかる表示について」
「使用上のご注意 ~必ずお読みください~」

⚠ 警 告

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。
- 内蔵型オプションの取り付け・取り外しは電源ケーブルをコンセントから抜いて行ってください。
- 雷が鳴り出したらケーブル類を含め本体に触らないでください。落雷による感電のおそれがあります。
- 「ユーザーズガイド」に記載されている内容を除き、分解・修理・改造を行わないでください。

⚠ 注意

- 持ち運びの際は本体の底面をしっかりと持って運んでください。
- 水、湿気、ほこり、油、煙の多い場所、また直射日光の当たる場所に設置しないでください。
- 装置に添付されている電源ケーブル以外を使用しないでください。
- 電源ケーブルは指定された電圧でPDUもしくはUPSに接続してください。
- 電源ケーブルはたこ足配線にしないでください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」の中に格納されています。

次の手順に従って参考してください。

- Windowsがインストールされているコンピューターの電源をONにします。
- 手順①でONにしたコンピューターへ、添付の「EXPRESSBUILDER」をセットします。
自動的にメニューが現れます。
- メニューから「説明書」をクリックします。



ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やStartup Guideでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときのトラブル回避の手立てやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

PDFファイルを閲覧するためには、Adobe Readerの日本語版が必要です。
Adobe Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます (<http://www.adobe.com/jp/products/acrobat/readstep2.html>)。

またユーザーズガイドは、NECのWebサイトからダウンロードすることもできます (<http://jpn.nec.com/nx7700x/support/index.html>)。

Step 1 添付品を確認する

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ● 本体×1 | ● スタートアップガイド×1 |
| ● 保証書×1 | ● SUVケーブル×1 |
| ● TeDoLi(システム診断ツール、CD 媒体)×1 | ● ラックマウントキット×1 |
| ● コードワード通知書(COPTモデルのみ) | ● EXPRESSBUILDER×1 |

- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。
● BTO(工場組み出荷)製品は、「組み製品・添付品リスト」も併せて確認してください。

Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本体に接続します。



「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

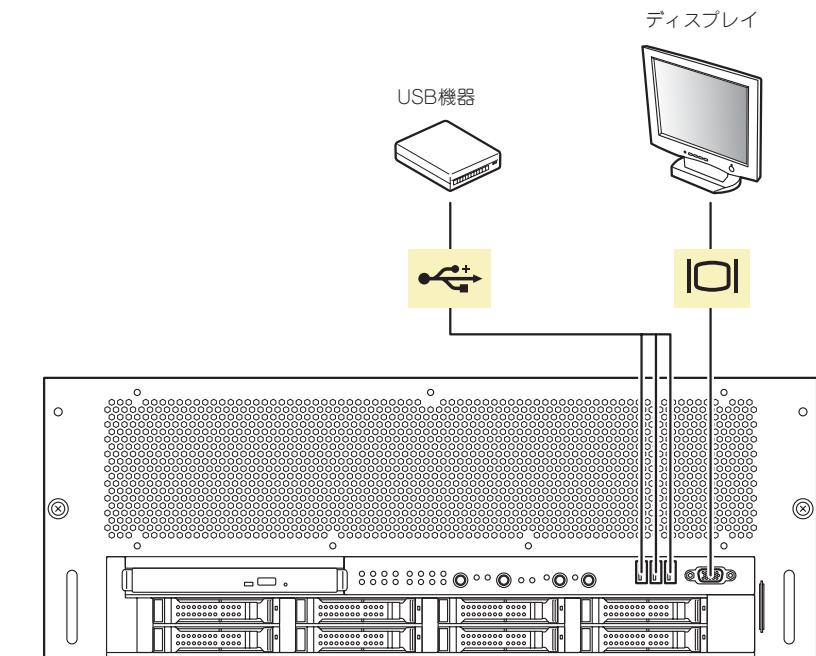
- 添付品は、なくさないよう大切に保管してください。
● BTO(工場組み出荷)製品は、「組み製品・添付品リスト」も併せて確認してください。

Step 2 内蔵オプションを取り付ける

本体内蔵用のオプションを取り付けます(オプションを購入していないお客様はステップ3へ進んでください)。

- 「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け/取り外し」、およびオプションに
添付の説明書を参照してください。

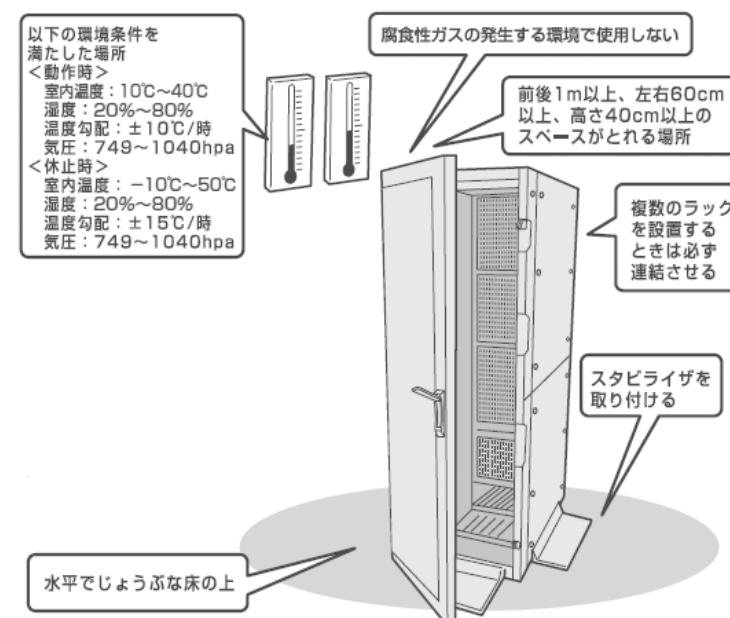
前面



Step 3 ラックを設置して本製品を取り付ける

本体はEIA規格に適合した19型ラックに設置して使用します。ラックへの設置について、次の条件を守ってください。

- 「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。動作時の環境条件はモデル
により異なります。「ユーザーズガイド」の「仕様」を参照してください。



背面

前面

SUVコネクタ

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

/

Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

電源をONにしてOSをセットアップします。

- ① ディスプレイの電源をONにします。
- ② POWERランプがアンバー点灯しているときは、消灯するまで待ちます。
- ③ 前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

重要 ● 本機の電源ユニット構成は、2N(冗長)がデフォルト設定です。N(非冗長)もしくはN+1(冗長)の電源ユニット構成を選択する場合には、必ず、初回電源ON前に動作モード[PSU Redundancy]を適切な設定に変更してください。詳しくは、ユーザーズガイドの付録「2. 動作モード(2) リモートマネージメント」を参照してください。

● 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

④ 本機の構成やシステムの用途に応じてBIOSをセットアップします。また、OSによってはBMCやBIOSの設定を出荷時の値から変更する必要があります。インストールするOSに合わせて設定してください。設定方法はユーザーズガイドの付録「OS毎/SMS毎の設定」を参照してください。

無停電電源装置(UPS)と連動させるときなどは、BIOSセットアップユーティリティ(SEUP)を使って設定を変更します。起動後、すぐに<F2>キーを押してください。

「ユーザーズガイド」の「システムBIOSのセットアップ」を参照してください。

⑤ EXPRESSBUILDERを本機にセットし、再起動させてください。
EXPRESSBUILDERが起動し、ブートメニューが表示されます。

⑥ ブートメニューから、「OS installation」を選択します。
しばらくすると、ホームメニューが表示されます。



⑦ ホームメニューの「セットアップ」を選択します。
⑧ 以降、インストレーションガイドに従って、OSのセットアップを進めます。
Windowsをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。
Linuxをセットアップするときは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。

ヒント インストレーションガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストレーションガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。

Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。

必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。

ヒント 「管理PC」は、一般的なクライアントコンピューターを使って構築できます(本機を管理PCとして兼用できます)。

名 称	インストール先	概 要	対応OS	
			Windows	Linux
ESMPRO/ServerAgent Service	本機	本機の状態を監視することができます	○	○
ESMPRO/ServerAgent Extention	本機	本機をリモート管理できます	○	○
エクスプレス通報サービス	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○
エクスプレス通報サービス(HTTPS)	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—
ExpressUpdate Agent	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます	○	○
Universal RAID Utility(URU)	本機	RAIDコントローラの管理、監視ができます	○	○
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます	○	○
Ezclct Viewer	本機	装置情報収集ユーティリティが採取した情報を表示することができます	○	—
RASツール	本機	RAS機能を設定することができます	○	—
BMC Configuration	本機	BMCを設定することができます	○	○
ESMPRO/ServerManager	管理PC	ESMPRO/ServerAgentService、ESMPRO/ServerAgentなどと連携し、本機を管理することができます	○	○
エクスプレス通報サービス(MG)	管理PC	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—

Windows版のバンドルソフトウェアは、オートランメニューを使ってインストールできます。

ヒント Linux版のバンドルソフトウェアは、「インストレーションガイド(Linux編)」を参照してください。

次の手順に従ってください。

- ① インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。
- ② Administrator権限のあるユーザー アカウント(ビルトインAdministrator)でログオンします。
- ③ EXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能が働き、次のようなメニューが起動します。



- ④ メニューの「統合インストール」または「各種アプリケーション」をクリックします。

⑤ インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。

⑥ 各バンドルソフトウェアのインストーラーなどが起動しますので、「インストレーションガイド(Windows編)」などに従ってインストールを進めてください。

以上で、NX7700xシリーズのセットアップは完了です。

トラブルが起きたときは

「メンテナンスガイド」には、トラブルシューティング、障害情報の採取方法、保守サービス会社に関する情報などが記載されています。こちらを参照してトラブルを解決してください。「メンテナンスガイド」は、「ユーザーズガイド」とともにEXPRESSBUILDERへ格納されています。

NX7700xシリーズに関するご質問・ご相談は弊社営業担当までご連絡ください。

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2016

NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。